

第45回 モンゴルの世紀③

1 元代の文化

・モンゴル帝国が広大な領域を安定的に支配したことを、「タタールの平和」という。
→ユーラシア大陸の交通網が整備され、東西文化の交流が非常に盛んとなった。

- () …ヴェネツィア出身の商人・旅行家。クビライに長く仕えた。
→帰国後に『』を書いた。
- () …大都の大司教となり、中国初のカトリック布教を行った。
マリニョーリ …1342年、ローマ教皇の使節として大都を訪れた。
- () …モロッコ出身の大旅行家で、14世紀前半に世界中を旅行し、
元も訪れた。『 (旅行記)』を書いた。



元ではウイグル文字をもとにしたモンゴル文字を公用語としていたが、パクパ文字も公文書などに使用された。しかし一般には普及しなかった。

パクパ



モンテ=コルヴィノ

中国で最初にカトリックを布教したことで名高いフランチェスコ派の修道士である。「中国で最初にキリスト教を布教した」わけではないので注意。



イブン=バットゥータ

イスラーム史で登場する大旅行家。彼もひとりだけで十分に大学入試問題になる存在。『諸都市の新奇さと旅の驚異に関する観察者たちへの贈り物』が旅行記の正式な名前。

- () …クビライに仕えたチベット仏教（ラマ教）の僧パクパは、チベット文字をもとに（）を作成した。
- () …イスラーム天文学の影響で、（）を作成した。
→江戸時代に日本人の渋川春海が（）を作成した。

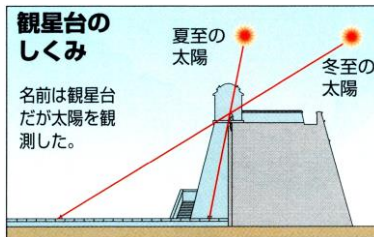


パクパ文字



郭守敬

クビライに仕えた科学者で、天文学だけでなく運河の整備などにも力を発揮した。1年を365.2425日とした授時暦は、当時としては驚異的な正確さであった。



観星台のしくみ

名前は観星台だが太陽を観測した。



映画『天地明察』

渋川春海（安井算哲）を主人公とする映画。岡田准一が主演した。登場人物がみんな学問に対する熱い情熱を持っているのがいいですね。



『西廂記』

- ・（）と呼ばれる歌劇が大成された（大都で発達したものを北曲という）。
→『』・『漢宮秋』・『』などの代表作が生まれた。
- ・『』・『』・『』の原型ができた。
→これらの作品は、明代に完成して出版された。

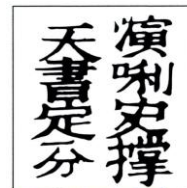
- ・イスラーム世界から輸入されたコバルトを用いて、（）と呼ばれる陶磁器が景德鎮などで盛んに作られ、「海の道」を通じて輸出された。
→元代の絵画がイランなどイスラーム世界に伝わり、（）が写実的な挿絵として発展した。これはミニアチュールとも呼ばれる。

2 元代のアジア諸国

- ・13世紀のアジア諸国は、多かれ少なかれモンゴル（元）の影響を受けた。
→元は各地に遠征を行ったが、撃退されることも多かった。

☆（ ）（大越国）（1225～1400年）

- ・元の遠征を受けたが、3度とも撃退した。
- ・漢字をもとにした（ ）を作成した。
→陳朝のあとの胡朝でも使用が奨励された。
- ・南越以来のベトナムの歴史書である『大越史記』を編纂した。



チュノム(字喃)
大越国(陳朝)で漢字をもとに作られた文字。

☆（ ）（13世紀～15世紀）

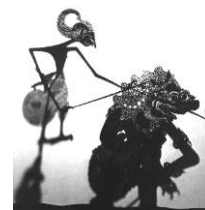
- ・モンゴルにおされて中国南部（雲南）から南下したタイ人が、先住民と同化してスコータイ朝を建国した。
- ・ラーマカムヘーン王の時代に、上座部仏教を受け入れてタイ文字を作成した。

☆（ ）（建寺王朝）（1044～1287年）

- ・11世紀、ビルマ（ミャンマー）最初の統一王朝だが、元に滅ぼされた。

☆シンガサリ朝（1222～1292年）

- ・クディリ朝につづきジャワ島に成立した。
- ・シンガサリ朝は元の遠征で崩壊した。



ワヤン

ジャワ島では、クディリ朝のころからワヤンと呼ばれる影絵芝居が発展した。インドの影響が強く、『マハーバーラタ』や『ラーマヤナ』が主に演じられた。

☆（ ）（1293～1520年ころ）

- ・元を撃退して、ジャワ島に成立したヒンドゥー教国。
→14世紀に全盛期をむかえたが、後にイスラーム勢力に押されて衰退した。

☆日本（？～2025年現在）

- ・日本は鎌倉時代（1192～1333年）にあたり、執権の北条氏が実権を握っていた。
- ・2度の元の遠征（ ）を撃退したが、鎌倉幕府は衰退していった。
→元とは（ ）も盛んに行われ、大量の銅銭などが輸入された。

ユーラシアの物の交流

